

やさいレポート (令和5年7月号)

きゅうり

発行日：令和5年7月7日

1. 卸売価格の動向

○300円/kg (7月4日)

➢ 平年比：108%

○7月の価格見通し

平年並みで推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○452円/kg (6月全国平均)

➢ 前月比：96%、平年比：102%

➢ 東京：174円 (3本)

➢ 大阪：51円 (1本)

○特売店舗数/調査店舗数

➢ 東京：11/20 (前月7/20)

➢ 大阪：5/10 (前月6/10)

(機構調べ)

3. 家計消費動向

○302g/人 (5月全国平均)

➢ 前月比：126%

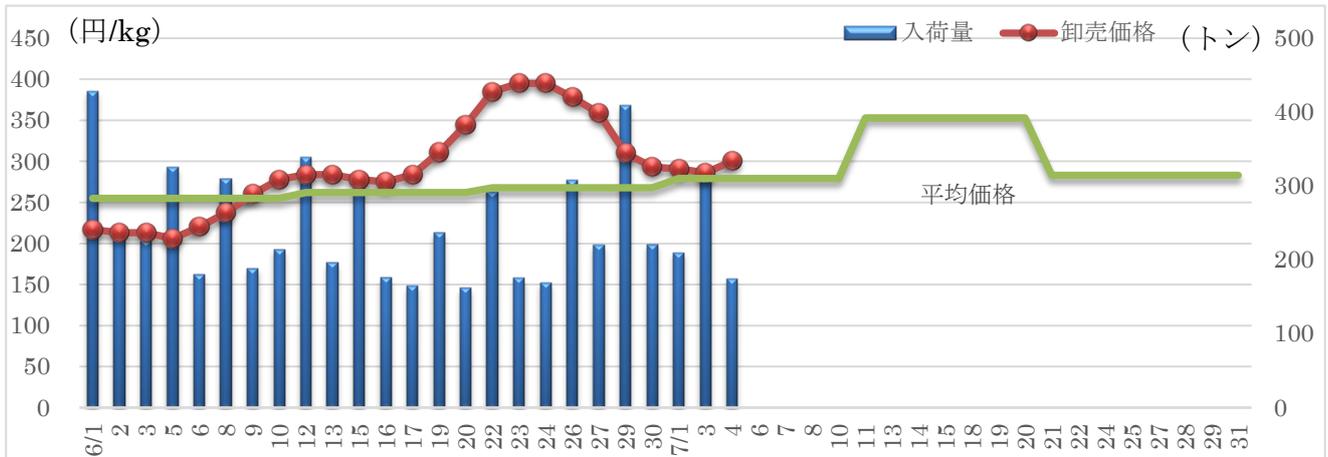
➢ 前年同月比：101%

○2,552g/人 (2022年年間)

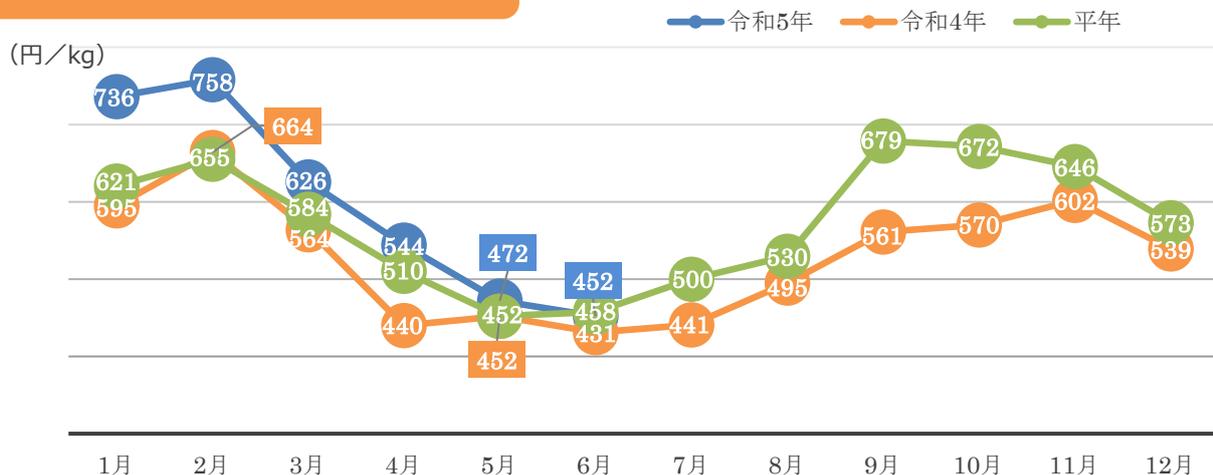
➢ 前年比：94%

(総務省統計局家計調査)

4. きゅうりの卸売価格と入荷量の推移 (東京都中央卸売市場)



5. きゅうりの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
岩手県岩手中央 (6/20)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
宮城県みやぎ仙南 (6/12)	減少	—	平年並み	平年並みを見込む
秋田県JAかづの (6/12)	前年並み	—	平年並み	—
山形県山形 (6/20)	前年並み	平年並み	平年並み	—
和歌山県紀ノ川中央 (6/29)	減少	—	平年並み	—
愛媛県西条市 (5/18)	前年並み	平年並み	平年並み	—

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



山形県山形：ハウス内の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (7/01~7/28)

		週別の天候		
7/01~7/07		北・東・西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
7/08~7/14		北・東・西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
7/15~7/28		北日本と東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東日本太平洋側と西日本では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。		
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低30 並30 高40% ほぼ平年並の見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み

(気象庁 1 カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮きゅうり及びガーキン)

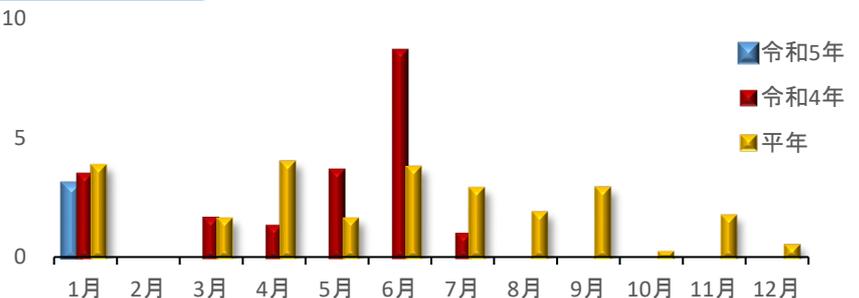
○0 t (5月輸入量) (トン) 10

➢ 前年同月比：-%

○輸入先国ベスト3

輸入実績なし

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

6月は、群馬産、埼玉産などの関東産は、これまでの成り疲れや梅雨入り後の曇雨天による着果、肥大不足で入荷量が伸びなかったことから、価格は続伸して平年を上回りました。

7月は、群馬産、埼玉産などの関東産が終盤になる中、後続の福島産、岩手産などの東北産の着果、肥大が順調なことから、市場入荷量は安定し、価格は平年並みの見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。
詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探 : <https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793